

2 受療率

全国の受療率（人口10万対）は、「入院」1,090、「外来」5,376である。

(1) 性・年齢階級別

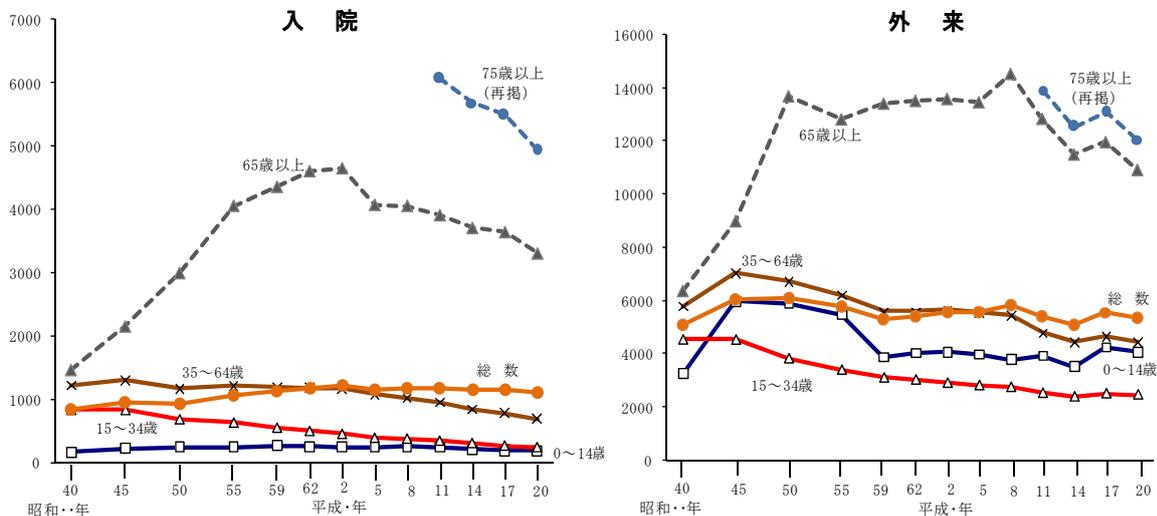
性別にみると、入院では「男」1,028、「女」1,150となっており、外来では「男」4,688、「女」6,031となっている。年齢階級別にみると、平成17年に比べ全体的に減少しているが、入院では「5～9歳」及び「10～14歳」がそれぞれ97と最も低く、年齢階級が上がるほど高くなっている。外来では「15～19歳」が1,906と最も低く、「75～79歳」が12,855と最も高くなっている。（表8、図4、統計表8）

表8 性・年齢階級別にみた受療率（人口10万対）

	入 院				外 来			
	総 数		男	女	総 数		男	女
	平成20年	平成17年	平成20年		平成20年	平成17年	平成20年	
総 数	1 090	1 145	1 028	1 150	5 376	5 551	4 688	6 031
0 歳	1 052	1 039	1 108	994	5 814	6 276	6 027	5 590
1 ～ 4	195	201	214	176	6 077	6 477	6 212	5 936
5 ～ 9	97	113	108	85	4 096	4 030	4 212	3 973
10 ～ 14	97	110	106	88	2 275	2 390	2 389	2 155
15 ～ 19	131	133	138	123	1 906	1 909	1 727	2 094
20 ～ 24	183	212	161	206	2 132	2 315	1 516	2 782
25 ～ 29	269	298	199	343	2 649	2 706	1 816	3 516
30 ～ 34	311	345	236	389	2 987	2 918	2 127	3 875
35 ～ 39	326	375	316	337	3 092	3 123	2 387	3 813
40 ～ 44	375	436	429	321	3 313	3 517	2 715	3 920
45 ～ 49	508	570	587	428	3 659	3 669	3 145	4 178
50 ～ 54	683	807	808	558	4 322	4 486	3 726	4 916
55 ～ 59	950	1 036	1 158	747	5 224	5 535	4 615	5 820
60 ～ 64	1 209	1 344	1 475	955	6 872	7 383	6 331	7 388
65 ～ 69	1 565	1 772	1 865	1 291	8 548	9 370	8 031	9 024
70 ～ 74	2 202	2 501	2 526	1 924	11 458	12 846	10 826	12 001
75 ～ 79	3 236	3 521	3 561	2 987	12 855	14 060	12 325	13 256
80 ～ 84	4 583	5 185	4 723	4 495	12 531	13 664	12 584	12 497
85 ～ 89	6 879	7 844	6 508	7 036	11 067	11 693	11 455	10 903
90 歳以上	10 308	12 000	8 958	10 747	8 562	8 879	10 013	8 149
(再 掲)								
65 歳以上	3 301	3 639	3 186	3 387	10 904	11 948	10 484	11 218
70 歳以上	3 992	4 400	3 806	4 121	11 843	12 998	11 635	11 987
75 歳以上	4 935	5 487	4 630	5 120	12 045	13 086	12 156	11 981

注：総数には、年齢不詳を含む。

図4 年齢階級別にみた受療率（人口10万対）の年次推移



注：1) 平成8年以前は、「75歳以上」を表章していない。
2) 平成17年から、診療所の調査の期日については、休診の多い木曜日を除外した。

(2) 傷病分類別

傷病分類別にみると、高い順に入院では、「V 精神及び行動の障害」236、「IX 循環器系の疾患」219、「II 新生物」125 となっており、外来では、「XI 消化器系の疾患」979、「XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患」740、「IX 循環器系の疾患」701 となっている（表9、統計表9・10）。

表9 傷病分類別にみた受療率（人口10万対）

各年10月

傷病分類	入院				外来			
	総数		男	女	総数		男	女
	平成20年	平成17年	平成20年		平成20年	平成17年	平成20年	
総数	1 090	1 145	1 028	1 150	5 376	5 551	4 688	6 031
I 感染症及び寄生虫症	19	21	21	18	152	178	140	165
結核 (再掲)	4	5	5	3	2	2	2	2
ウイルス肝炎 (再掲)	3	4	3	2	43	62	43	43
II 新生物	125	133	144	106	171	160	161	180
胃の悪性新生物 (再掲)	13	15	18	9	17	15	23	11
大腸の悪性新生物 (再掲)	15	15	18	13	18	16	22	15
肝及び肝内胆管の悪性新生物 (再掲)	8	9	11	5	6	6	7	4
気管、気管支及び肺の悪性新生物 (再掲)	16	16	22	10	11	10	15	8
III 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	5	5	4	5	18	21	10	25
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	29	31	26	31	282	299	243	320
糖尿病 (再掲)	20	24	20	21	147	158	163	132
V 精神及び行動の障害	236	255	240	232	182	176	163	200
血管性及び詳細不明の認知症 (再掲)	35	42	24	45	10	9	5	15
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 (再掲)	147	156	158	136	52	49	56	48
VI 神経系の疾患	83	76	71	94	104	112	91	116
VII 眼及び付属器の疾患	8	10	7	9	211	261	156	263
VIII 耳及び乳様突起の疾患	2	2	2	2	96	90	87	104
IX 循環器系の疾患	219	249	193	244	701	743	625	773
高血圧性疾患 (再掲)	7	9	4	10	471	504	383	555
心疾患（高血圧性のものを除く） (再掲)	46	47	42	49	102	112	109	96
脳血管疾患 (再掲)	156	183	136	175	94	96	95	93
X 呼吸器系の疾患	66	62	73	59	508	593	493	523
喘息 (再掲)	4	7	4	5	88	115	90	86
X I 消化器系の疾患	54	56	60	48	979	1 019	866	1 086
歯及び歯の支持組織の疾患 (再掲)	1	1	1	1	757	772	666	844
食道、胃及び十二指腸の疾患 (再掲)	8	9	8	7	109	130	91	127
肝疾患 (再掲)	8	10	9	7	28	37	32	25
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	10	7	9	10	198	209	179	216
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	54	54	36	70	740	769	560	912
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	37	36	37	37	226	197	216	235
X V 妊娠、分娩及び産じょく	15	15	.	30	13	11	.	26
X VI 周産期に発生した病態	5	5	5	4	2	2	2	2
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	5	5	5	4	10	9	10	10
X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	15	19	13	17	68	60	56	79
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	98	96	78	118	250	238	258	243
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	8	8	4	11	465	405	373	552
歯の補てつ (再掲)	0	0	0	0	237	209	210	263

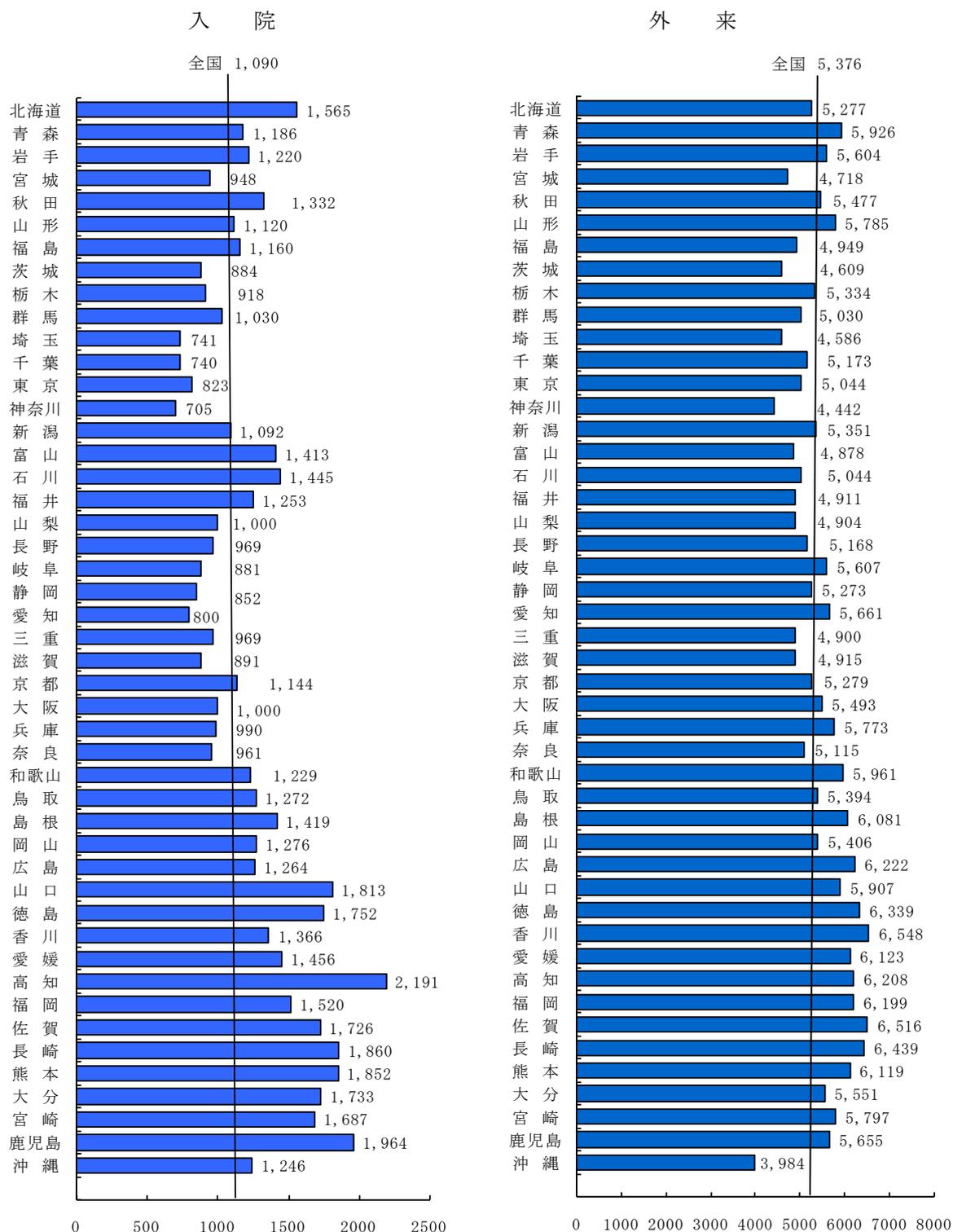
(3) 都道府県別

都道府県（患者住所地）別にみると、入院では、「高知」が 2,191 と最も高く、次いで「鹿児島」1,964、「長崎」1,860 となっている。また、「神奈川」が 705 と最も低く、次いで「千葉」740、「埼玉」741 となっている。

外来では、「香川」が 6,548 と最も高く、次いで「佐賀」6,516、「長崎」6,439 となっている。また、「沖縄」が 3,984 と最も低く、次いで「神奈川」4,442、「埼玉」4,586 となっている。（図 5）

図 5 都道府県（患者住所地）別にみた受療率（人口 10 万対）

平成 20 年 10 月



注：都道府県別受療率は、患者の住所地別に算出したものである。